

電気学会 IEEJ プロフェッショナル アクションレポート

2021年1月・第50号

IEEJ プロフェッショナルニュース

ニュース1. IEEJ プロフェッショナル会 第111回議事メモ

1. 日時：2020年10月13日（火）14時～16時
2. 場所：Zoom オンライン
3. 出席者：佐野光夫、伊藤二郎、佐藤信利、大島正明、木村軍司、谷口 元、長瀬 博、深尾正、深川裕正、山内経則、天雨 徹、岩本伸一、小川 勝、河合三千夫、木下繁則、近藤遼太郎、斉藤成一、白川晋吾、寺嶋正之、奈良宏一、野田紘憲、松村基史、山極時生、山田忠利、渡辺和夫（25名）
4. 講演：佐藤信利 氏（IEEJ プロフェッショナル）
「ドイツの再生可能エネルギーへの取り組みと日本の状況」
4. 1 講演
 - (1) ドイツの再生可能エネルギーの普及状況、CO2削減、電気料金
 - (2) 再生可能エネルギーの普及のポイント（FIT(固定価格買取制度)、電力自由化、政府の長期的視点)
 - (3) ドイツの FIT 制度の特徴（きめ細かい普及政策）
 - (4) ドイツの FIP（プレミアム制度）・入札制度
 - (5) 日本の性急な入札制度導入と失敗
 - (6) ドイツの電力自由化と送電部門の中立の徹底、日本の不徹底さ
 - (7) 送電線空き容量問題と東電の取り組み
 - (8) ドイツ政府のエネルギー政策の長期的展望とマイルストーン・PDCA の徹底
 - (9) 日本のエネルギー政策の不透明さ
 - (10) 2050年に向けて日本のエネルギー政策の立て直しが必要
4. 2 質疑応答・意見感想
 - (1)貯えるものが必要である。(2)FIT 日本 10%に対し、ドイツ 22%が高いが国民の支持が得られるのか。ドイツでは環境教育やっている。(3)河野規制改革大臣は再生可能エネルギーの活用促進に向けて、既存の制度を総点検すると表明。国会での議論が必要。ドイツは物事の決め方がオープンであり、法律で決める。(4)日本は島国で単独であるがドイツは欧州のネットワークに属し融通が効くことの違いは考慮要。韓国などとの連携も必要。(5)国家安全のことを考えるとエネルギー自給率を高めることが必要。再生可能エネルギーは自給率を高めるのに貢献するが、このことは言われていない。この場合、エネルギーの貯蔵がキーポイント。自動車も含め水素の利活用が大事。
5. その他
電気理科クラブをベースとした記事が電気学会会誌 2020年10月号に掲載された。

以上

ニュース2. IEEJ プロフェッショナル会 第112回 定例会 議事メモ

1. 日時：2020年11月19日（木）14時～16時30分
 2. 場所：Zoom オンライン
 3. 出席者：佐野光夫、伊藤二郎、佐藤信利、大島正明、木村軍司、谷口 元、長瀬 博、深尾正、深川裕正、松岡孝一、小川 勝、加藤紀光、河合三千夫、長谷良秀、古関庄一郎、佐々木三郎、寺嶋正之、野田紘憲、((株)エルテクス設計) 三井、片山 (20名)
 4. 講演：長谷良秀氏 (IEEJ プロフェッショナル)
「電力・動力系エンジニアリング分野に見る Digital 革新について」
4. 1 講演要旨
- (1) デジタル情報化時代、誰もが強力な道具を手にする時代
 - (2) IEEE の電力系論文誌では ETAP (Electric Transient Application Program 解析ツール) がツールとして使われている。
 - (3) ETAP などが世界の De-facto (事実上の標準的) なプラットフォームになりつつある。
 - (4) ETAP は幅広い多目的・多機能なエンジニアリングツール。
 - (5) ETAP の特徴として、IEEE 等の規格と連動した Quality Assurance (品質保証)、Real-time なソリューション提供、システム毎に高度に特化した機能、豊富で優れたライブラリ機能、豊富なユーザガイド
 - (6) 日常のエンジニアリング業務と解析業務が一体化しつつある。
 - (7) エンジニアリングツールは進化の途上にあり、幅広い分野に応用されつつある。
 - (8) 日本国内では、産業メーカ、エンジニアリング会社、電機メーカで活用が期待できる。電力会社は独自のソフトが既にあり、難しいと思われる。
 - (9) 世界のデジタル情報化時代に即して、デジタルエンジニアリングツールが従来の方法、ビジネススタイルを変革しつつある。
 - (10) 日本の状況を見ると、日本にはエンジニアリングツールを主導する企業がなく、世界の中で孤立し、ガラパゴス化するのではと心配している。
 - (11) エルテクス社による ETAP の機能紹介のデモ
4. 2 質疑応答・意見感想
- (1) 世界のメーカの部品データが登録されているが、日本のものは極少。
 - (2) ETAP は少しレベルが高いかもしれないが、大学の演習用としての利用が望ましい。無償配布とか、日本語版などは考えられないか？
 - (3) ETAP は EMTP (Electro-Magnetic Transient Program) とは適用領域が違うが、データを渡せるようにはなっている。
 - (4) ETAP のシミュレーション計算結果の信頼度は高いものがある。
 - (5) ETAP を評価するためにも、他のエンジニアリングツールの紹介も欲しかった。
 - (6) 聴講者から、独自のソフトを作成し、無償配布している事例が紹介された。

以上